

会長挨拶

一般社団法人東京都学校薬剤師会会長 井上 優美子

平成25年5月の代議員総会において、会長を仰せつかり、平成27年3月までの2年間一般社団法人東京都学校薬剤師会会長の職を務めることになりました。

新役員を紹介いたします。

会長	井上 優美子
副会長	石川 哲也、岡本 繁雄、杉本 カヅ
理事	朝木 多貴子、安西 眞理子、井戸 久夫 亀崎 信明、田中 恭子、田中 順子
監事	川名 信一、橋本 孝雄

このメンバーで会務をすすめてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

昨年より日本学校薬剤師会が日本薬剤師会の学薬部会に吸収合併され、学校薬剤師に関する活動は残念ながら停滞していると申しても過言ではないと考えております。日薬の学薬部会のお知らせを見ましても薬教育が大きなウエートを占めているのが、現状です。

いろいろなところで述べてまいりましたが、学校薬剤師の職務は、学校保健安全法にあるように、学校環境衛生検査に従事し、指導、助言を行うということが第一に挙げられると考えます。学校三師の中で日常業務以外の仕事を行っているのは学校薬剤師だけです。ここ数年の話題の中で、環境やアレルギーに関する問題がマスコミ等で話題になることが増えてきております。例を挙げるなら、原発に関連し放射能の問題、PM2.5、食物アレルギーに関連してのエピペンなどです。日本薬剤師会の学薬部会や東京都薬剤師会では、このような環境衛生問題に関する講習会、講演会開催が少なくなっているのが気になります。

私達学校薬剤師は学術団体であるとの認識のもと、会員向けの講習会にこれらの話題に関し、第一線でご活躍の講師をお呼びして講演をお願いして



おります。学校保健会に出席し意見を求められても最新の情報を伝えることができる内容であると自負しております。お忙しいとは思いますが、各支部お一人でも出席していただき、支部会員に伝達していただければ、学校薬剤師一人一人の知識の底上げが出来るのではないかと期待しております。

学校薬剤師基礎研修会も引き続き行って参ります。

第1回目はPM2.5の測定の仕方、PM2.5とは？
第2回目は新しく作成した中、高校生向けの薬物乱用防止教育用CDを用いての講義の実際、
第3回以降も2か月に1回の予定で開催してまいります。

当会の会員の中には東京都薬剤師会の会員でない方もいらっしゃいます。その方々が不利にならないよう、当会独自の事業を進めていきたいと考えております。そのためには会員の皆様のご協力が何より必要だと思っております。

なかなか仕事内容が見えないとは思いますが、ご意見、ご要望等がございましたら、メール、FAXなどで頂戴できれば幸いです。

開催行事参加報告

学校薬剤師基礎講習会

井戸 久夫

平成 25 年 5 月 30 日(木)第 6 回学校薬剤師基礎研修会「浮遊粉じんと PM_{2.5}」が日本橋浜町の中央区立総合スポーツセンター会議室にて、役員他会員 50 名を集め田中恭子理事の司会進行のもと 18 時 30 分より開催された。

最初に、岡本副会長より学校環境衛生基準、環境基本法、そして PM_{2.5} について対処法や健康への影響等々、詳細な解説と情報の提供があった。柴田科学(株)の岡村講師より 40 分程度 PM_{2.5} の講義後、実際の測定器を用いた実習が行われた。PM_{2.5} は寿命が 2 週間と長く越境大気汚染の原因ともなること。肺がんや喘息、気管支炎を引き起こすこと。肺を通して体内に入ると心臓血管系に悪影響を及ぼす等健康影響が大きいこと。また、現在の対策等も示された。測定器は、デジタル粉じん計 LD-5 型に PM_{2.5} サイクロン式分流装置を装着することで簡易的に測定出来るような構成になっていた。詳細は柴田科学にお問い合わせを。

都立学校建築物衛生管理技術者および

学校薬剤師講習会

岡本 繁雄

5 月 22 日(水)、平成 25 年度都立学校「建築物環境衛生管理技術者講習会、学校薬剤師講習会」が東京都教育庁主催で行われた。「建築物環境衛生管理技術者」の業務はビル衛生管理係、松田氏が講演した。「建築物環境衛生管理基準」には空気環境の調整からねずみ・昆虫等の防除があり、ビル管理技術者は当該学校と打合せを行い、年間管理計画を作成し実施する。ねずみ等防除は法では 6 ヶ月を超えない範囲で 1 回定期に点検としているが、東京都の要領では、発生しやすい場所は毎月 1 回、生息状況を点検するとしている。続いて、教育庁学校健康推進課杉浦氏が「学校環境衛生」について講演した。学校プールに係る学校薬剤師への質問と題して 10 事例を挙げた。その事例の一

つとして、プール水が、着色してしまったが、どう対応したらよいか。など、実際、起こり得る事例を分かりやすく解説を頂き、大変有意義な講習会であった。

第 3 回学校環境衛生研修会(名古屋)

田中 順子

平成 25 年 7 月 21 日、名古屋市中区丸の内東建ホールに於いて標記の協議会が開催された。

愛知県学校薬剤師会及び名古屋市学校薬剤師会が主催し、「学校環境衛生の研究協議を行い健康教育の充実を図る」という趣旨のもと全国から多数の参加者を集めた。文部科学省健康教育企画室北垣邦彦調査官の講義と兵庫教育大大学院鬼頭英明教授の特別講演の後、東京都、三重県、横浜市及び岐阜県の各学校薬剤師会の研究発表があった。



東京都学校薬剤師会は共催者として、石川副会長が発表を行った。学校薬剤師の将来像について、これまで議論の場が持たれなかったことから、(公社)日本薬剤師会が出した「薬剤師の将来ビジョン(学校薬剤師の現状と将来ビジョン)」の内容についての認識の違いを指摘した。しかし、会場の学校薬剤師のほとんどが同ビジョン自体を読んでいなかったため目標とした議論にまでは至らず、残念な部分が残った。

今後、学校薬剤師全員が知ることが出来るような情報の発信の仕方を期待して会場を後にした。

代 議 員 会 報 告

平成 25 年度一般社団法人 東京都学校薬剤師会代議員総会及び東京都学校薬剤師会表彰授与式が平成 25 年 5 月 23 日（木）18 時 30 分から全水道会館において開催された。

代議員総会の議題は、以下のようである。

- 報告第 1 号 平成 24 年度会務報告並びに事業報告
 - 報告第 2 号 平成 25 年度事業計画に関する件
 - 報告第 3 号 平成 25 年度歳入歳出予算に関する件
 - 議案第 1 号 平成 24 年度歳入歳出決算案に関する件
- 監事監査報告

報告及び議案は、すべて承認された、

平成 24 年度 収支決算

自：平成 24 年 4 月 1 日 至：平成 25 年 3 月 31 日

科 目	予 算	決 算 額	増 減 (予算－決算)	備 考
収入の部				
1、会 費	22,160,000	20,725,000	1,435,000	
2、委託金収入	1,000	0	1,000	
3、補助金	300,000	300,000	0	
1) 都学校保健会	300,000	300,000	0	
4、雑収入	760,000	2,053,562	△ 1,293,562	
1) 利息収入	10,000	7,572	2,428	
2) 諸雑収入	750,000	2,045,990	△ 1,295,990	
合 計 (A)	23,221,000	23,078,562	142,438	0
支出の部				
1、事業費	4,000,000	2,729,409	1,270,591	
(1) 環境衛生薬事衛生対策費	4,000,000	2,729,409	1,270,591	
1) 研究費	500,000	369,678	130,322	
2) 情報収集費	100,000	86,535	13,465	
3) 機器・備品整備費	20,000	9,880	10,120	
4) 大会講習会費	1,200,000	661,903	538,097	
5) 研究協議会費	650,000	535,324	114,676	
6) 薬物乱用防止対策費	530,000	469,560	60,440	
7) 印刷製本費	900,000	545,896	354,104	
8) 表彰費	100,000	50,633	49,367	
2、管理費	7,220,000	6,824,078	395,922	
1) 役員報酬	840,000	840,000	0	
2) 給料手当	1,000,000	1,298,338	△ 298,338	
3) 臨時雇用賃金	30,000	17,610	12,390	
4) 福利厚生費	50,000	67,894	△ 17,894	
5) 支払リース料	360,000	362,880	△ 2,880	
6) 旅費交通費	200,000	237,350	△ 37,350	
7) 通信運搬費	900,000	579,892	320,108	
8) 什器備品費	20,000	0	20,000	
9) 消耗品費	400,000	218,355	181,645	
10) 修繕費	10,000	0	10,000	
11) 水道光熱費	150,000	200,475	△ 50,475	
12) 賃借料	1,700,000	1,667,400	32,600	
13) 租税公課	10,000	700	9,300	
14) 事務委託料	600,000	433,650	166,350	
15) 手数料	20,000	12,704	7,296	

1 6) 渉外費	700,000	685,195	14,805	
1 7) 理事実費弁償	200,000	195,000	5,000	
1 8) 雑費	30,000	6,635	23,365	
3、会議費	2,500,000	1,513,690	986,310	
1) 総会費	200,000	142,410	57,590	
2) 支部長会費	200,000	69,900	130,100	
3) 代議員会費	300,000	217,880	82,120	
4) 理事会費	300,000	263,700	36,300	
5) 役員会費	750,000	370,800	379,200	
6) 委員会費	750,000	449,000	301,000	
4、支部運営費	6,360,000	5,820,000	540,000	
1) 支部運営費	6,360,000	5,820,000	540,000	
5、日学薬会費	3,000,000	3,000,000	0	
1) 日学薬会費	3,000,000	3,000,000	0	
6、積立金	50,000	50,000	0	
1) 記念誌積立金	50,000	50,000	0	
7、法人税等	70,000	58,300	11,700	
1) 法人住民税	70,000	58,300	11,700	
8、予備費	21,000	0	21,000	
支出合計 (B)	23,221,000	19,995,477	3,225,523	
次期繰越収支額 (C = A - B)	0	3,083,085	△ 3,083,085	
合 計	23,221,000	23,078,562	142,438	

薬物乱用防止教室（パート 1）CD が完成しました 会員には無料配布されます

一般社団法人東京都学校薬剤師会作成 薬物乱用防止教室（パート1）CD

完成しました

薬物乱用 ハルコの場合



中学・高校生以上を対象にした
薬物乱用防止教室にご活用ください。
どうして、薬物を乱用することになった
のか・・・その結末は・・・
ストーリー仕立てとなっています。

薬物乱用 ナツオの場合



CD 目次

- 正しい薬の使い方
- 薬物乱用とは
- 薬物の種類
- 薬物乱用 ハルコの場合
- 薬物乱用 ナツオの場合
- 薬物の誘惑に負けないために



パンフレット

CDの内容をわかりやすくパンフレット(6ページ)にしました。講義終了後に配布することで、講義CDを再び確認することができます。有料のため、必要部数など都学薬にお問い合わせ下さい。

各支部の活動状況

千代田支部

清水 弘明 先生

千代田区には、8 小学校（幼稚園・こども園）、2 中学校、1 中等教育学校（中高一貫校）が設置されており、14 名の学校薬剤師で担当している。4 月に各学校の保健年間計画の策定に参加し、これに従って業務を行っている。

定期試験は、「教室の空気試験」、「教室の照度試験」を夏季と冬季（6-7 月、1-2 月）の 2 回、「ダニアレルギー試験」を夏季（6-7 月）に 1 回実施している。検査成績は、改善点があれば、学校に指導を行い、改善を確認後、学校を通して、区教育委員会に報告している。外部委託の「水質試験」は、試験成績を確認し、必要に応じて、簡単な水質試験を実施している。

日常は、学校保健会への出席、学校からの要望事項の指導などに、従事している。

三師会、養護・保健・栄養部会、PTA からなる千代田区学校保健会は、父兄が出席して行われる年 1 回の大会を開催し、各部会が、研究成果を発表している。薬剤師部会は、最近では、「薬とはなにか」・「薬物乱用防止」・「新しい薬の開発」（口頭発表）、「水質試験」・「ダニアレルギー試験」・「教室の照度試験」・「教室の空気試験」（誌上発表）などを発表してきた。

千代田区では、昭和 5 年に荻村武郎さん（麹町区）が、学校薬剤師第 1 号を委嘱され、新しい職域の発展に大変、努力されたことが、代々言い伝えられている。私たちは、この先達の意志を継いでいくよう努力している。

大森支部

丸山 慶祐 先生

大森支部は現在、一般社団法人大田区薬剤師会大森ブロック学校薬剤師会となっていますが、名称は大森学校薬剤師会のままとし、運営方法は現在の実情に合わせて旧支部そのままの方法で活動しています。大田区全体では小学校 59 校、中学校 28 校で、そのうち大森が担当しているのは小学校 19 校、中学校 9 校です。そして、大森学校薬剤師会会員より一般社団法人東京都学校薬剤師会理事 1 名（女性）、大田区学校保健会副会長 1 名（男性）、大田区学校保健会会計理事 1 名（女性）がそれぞれ任命されています。

活動内容は、区教育委員会の計画に基づき、学校プールの衛生管理・指導（3 回 6～9 月）、給食室の定期衛生検査（3 回 5 月～3 月）、給食室内の水道水定期衛生検査（1 回 10 月）を行い、加えて学校の環境衛生・施設設備の安全点検について指導助言しています。

大田区学校保健会では毎年 2 回学術講演会を開催しており、昨年度は 7 月に第 1 回「薬物の乱用・依存・中毒の理解と全国中学生調査からみえてくるもの」と題して国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部長 和田清先生に、第 2 回を 12 月に「低線量被曝の健康影響」と題して京都大学名誉教授・放射線生物研究センター特任教授の渡邊正己先生にご講演いただきました。薬事関連としては、アルコール・タバコ・薬の正しい使い方に関する指導助言を始め、学校保健計画及び学校保健委員会に参画しています。

学校においてアルコールの害の話をされた先生！！
一定の用紙で事後報告をしていただくと旅費を支給いたします。（金額は、3000 円です）

パンフレットも、公益社団法人アルコール健康医学協会のパンフレット

お酒飲んでもいいの？

未成年者にはこわいお酒

恐ろしいイッキ飲み

などが無料で使用出来ます。

詳細は事務局まで。

協賛会員のページ

光明理化学工業株式会社

平素は、東京都学校薬剤師会の先生方に大変お世話になっており、誠にありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。弊社、光明理化学工業株式会社は、検知管をはじめとし、各種ガス測定器の製造・販売を行って参りました。現在、ガスの測定機材は多数あるとは思いますが、特に学校薬剤師の先生方に関わりが深いのが二酸化炭素検知管、一酸化炭素検知管ではないかと思えます。使用方法についてのお問い合わせを頂くこともあり、特に今の季節は、検知管を冷蔵庫から取り出してすぐに測定しても良いかとお問合わせ頂く事もございます。低温状態では試薬の活性が低下する事により、やや検知管の反応が悪くなることもある為、より正確な値を導き出して頂く為にも、冷蔵庫から出した検知管を 20 分程度屋内に置いて頂き、室温に戻してからのご使用を推奨

させて頂いております。検知管は、誰でも・すぐに・簡単に、を実現した優秀な測定ツールです。ですがその中でも更に使いやすいと思っ頂けるよう、弊社では、境界線(読み取り易さ)がより明瞭になる様に開発を続けて参りました。その結果の一つとして、ホルムアルデヒド検知管 710 は、境界線が明確で非常に読み取りやすいと先生方にも御好評を頂いております。機会があればご利用頂ければ幸いです。これからも、北川式検知管を御利用頂けますよう努めて参りますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

担当 望月・中村
TEL 044-833-8900
FAX 044-833-2671

今後の研修会・講習会

(赤字：都学薬主催・共催)

第64回関東甲信越静学校保健大会(東京)	平成25年 8月1日(木)
第23回アルコール健康教育研修会(都立東高等学校)	平成25年 8月16日(金)
第22回薬物乱用防止研修会(都立東高等学校)	平成25年 8月17日(土)
平成25年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会(徳島市)	平成25年 9月5日6日(木、金)
学校薬剤師研修会(都民ホール)	平成25年 9月12日(木)
テーマ：食物アレルギーとアナフィラキシー(エピペン)	
学校薬剤師指導者研修会(新宿文化センター)	平成25年10月10日(木)
テーマ：PM2.5	
学校薬剤師基礎研修会(第3回)	平成25年10月17日(木)
テーマ：学校給食衛生管理について	
第63回全国学校保健研究大会(秋田市)	平成25年11月7日8日(木、金)
第62回全国学校薬剤師大会(秋田市)	平成25年11月7日(木)
新年賀詞交歓会(グランパシフィック LE DAIBA)	平成25年 1月11日(土)
平成25年度東京都教育委員会学校保健給食表彰式	

一般社団法人東京都学校薬剤師会事務局

〒101-0054 千代田区神田錦町2-5 第一大隆ビル302
東京都学校薬剤師会へのご意見・お問合せは FAX でお願いします
FAX: 03(3518)4708 TEL: 03(3518)4707